

東日本手外科研究会ニュース

Newsletter of Eastern Japan Society for Surgery of the Hand

令和5年10月5日号

October XX, 2023

●●● 第38回東日本手外科研究会開催にあたって

第38回東日本手外科研究会を2024年2月3日（土曜日）、東京の順天堂大学本郷・お茶の水キャンパスで開催させていただきますことを光栄に存じます。

今回のテーマは「From Inspiration to Implementation ～閃きから実践へ」といたしました。これからの手外科は伝統を守りつつ、さまざまなアイデアを閃いて（ひらめいて）、それを実践していく意思・意欲が大切であると考えます。そのことを、これからの若い先生方に託したい、という思いがあります。

本研究会は、第1回を1987年に山内裕雄名誉教授が順天堂大学で開催されました。第27回は楠瀬浩一先生がイイノホールで開催され、今回の第38回は順天堂大学として3回目の担当となり、37年ぶりに順天堂大学本郷・お茶の水キャンパスでの開催となります。

特別講演は、私の卒業大学の先輩でもあります、日本手外科学会元理事長の平田仁先生にお願いしました。生前、山内先生から手外科のブレークスルーは何だ？と質問され、返答に窮しておりました。是非、平田先生のお考えになるブレークスルーをお伺いしたいと思っております。また、山内先生は長きにわたって当研究会の特別顧問をされていたこともあり、本研究会では山内裕雄メモリアルとして特別企画を作りました。演者には山内先生と親交の深かった諸先輩方をお願いしました。シンポジウムは、手外科診療におけるロコモティブシンドロームとし、これからの高齢化社会において手外科がどのようにロコモとかかわってゆけばよいのか探りたいと思います。

主題は新しい試み、自家神経と人工神経、リウマチ手のリハビリ、上肢の重度軟部組織損傷、小児の橈骨遠位端・遠位骨幹部骨折、手の保存治療、を取り上げました。また、教育研修講演では統計学の入門講座を予定しています。統計処理は学会発表や論文作成では欠かせないツールであり、これを機に私も含めて統計を苦手と思っている先生方にも是非、理解を深めていただければと思います。さらにランチョンセミナー3つとハンズオン2つを予定しています。

本研究会の不変のテーマでもある、『手外科の新しい試み』につきましては、若手の先生から素晴らしい発表があれば表彰も考えています。若手の先生を含めて多くの先生方からの御発表をお待ちしております。

COVID-19も5類感染症となり、ようやく各学会でも以前の風景が戻りつつあります。

本研究会もざっくばらんに議論しあえる会にできたらいいなと思っております。

皆様のご協力を是非ともお願いいたします。

第38回東日本手外科研究会 会長 原 章
(順天堂大学医学部附属浦安病院 整形外科)

●●● 第39回東日本手外科研究会

第39回東日本手外科研究会を2025年2月22日（土曜日）に、北海道立道民活動センター かでる2・7で開催させていただくことを大変光栄に存じます。

本研究会は、1991年に第5回を石井清一先生が開催され、2017年に第31回を青木光広先生が開催されています。今回で札幌医科大学としまして3回目の担当をさせていただきます。これまでご指導を頂きました石井清一先生、薄井正道先生、荻野利彦先生、青木光広先生、和田卓郎先生をはじめ、札幌医科大学手外科グループの多くの先輩たちが築かれた伝統と業績を大切にしながら、私たち後輩や若手医師たちが楽しめるような研究会になるように準備を進めているところです。

2月は雪が多く、寒い時期ですが、最も北海道らしい季節でもあります。この時期は北海道ならではの多くの観光イベントが開催され、冬の札幌市内は大変な賑わいを魅せていると思います。美味しい食事とお酒を堪能しながら、冬の北海道を楽しんでいただければ幸いです。

多くの皆様のご参加とご発表を頂き、活気のある有意義な研究会を開催したいと考えます。会員の皆様と札幌でお会いできますことを楽しみにお待ちしております。

第39回東日本手外科研究会 会長 射場 浩介

(札幌医科大学 運動器抗加齢医学)

●●● 第40回東日本手外科研究会

このたび第40回記念となる東日本手外科研究会を開催させて頂くことになりました。大変光栄に存じます。宮城・仙台での研究会は第29回(2015年)の宮坂芳典会長以来2度目、形成外科での開催は3度目になります。東北大学形成外科学講座としては初の開催で、教室員一同誠心誠意をもって開催に努めます。開催時期は2026年1月31日か2月7日の土曜日を候補に調整しております。仙台は都心や各地からのアクセスもよく、観光やグルメに恵まれ、また映画や漫画、ドラマの舞台となった街でもあります。多くの皆様方が参加していただき、冬の仙台で熱い議論を交わし、素晴らしいひと時となりますように、今から鋭意準備をさせていただきます。多くの皆様方のご参加をお待ちいたしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

第40回東日本手外科研究会 会長 鳥谷部 荘八

(仙台医療センター形成外科・東北ハンドサージャリーセンター)

●●● 運営委員会から

以下に、令和5年1月27日に開催されました運営委員会の議事を中心に記載いたします。

1. 第36回東日本手外科研究会: 令和5年1月27日、第36回東日本手外科研究会が、千馬真誠悦会長(中通総合病院)の主催のもと、成功裏に無事終了いたしました。(現地開催およびオンデマンド配信にて)
2. 会員動向: 新入会員58名で、現会員数は702名となりました。
3. 会長・次期会長の承認: 会長に原 章先生(順天堂大学医学部附属浦安病院 整形外科)が、次期会長に射場浩介先生(札幌医科大学 整形外科)が承認されました。また次々期会長に鳥谷部 荘八先生(仙台医療センター形成外科・東北ハンドサージャリーセンター)が選出されました。
4. 運営委員: 任期満了を迎えた23名の委員(西田淳、三上容司、山本謙吾、池上博泰、岩崎倫政、千馬真誠悦、長田伝重、射場浩介、岩部昌平、佐藤和毅、古町克郎、松田健、岩瀬嘉志、佐竹寛史、鳥谷部 荘八、上里涼子、大江隆史、長田龍介、長尾聡哉、松浦慎太郎、上野幸夫、江尻 荘一、佐藤光太郎、関口昌之)に関して再任が承認されました。
また、新運営委員として、久保和俊会員(昭和大学江東東豊洲病院)、佐々木規博会員(青森市民病院整形外科)、小林由香会員(東海大学外科学系整形外科学)、松井雄一郎会員(北海道大学病院 整形外科)、岩本卓士会員(慶應義塾大学 整形外科)、大木 聡会員(済生会宇都宮病院)、西脇正夫会員(川崎市立川崎病院)の7名が選出されました。

●●● 東日本手外科研究会事務局

〒108-0073 東京都港区三田3-13-12 三田MTビル (株)アイ・エス・エス内

TEL: 03-6369-9984 / FAX: 03-6369-9982 / E-mail info@ejhand.jp

URL <http://www.jssh.or.jp/ejhand/>